

守山市立 速野幼稚園

日時：2016年11月2日（水）13:30-17:00

2016年11月9日（水）9:15-16:00

場所：守山市水保町 2399-1

田んぼに囲まれ、野洲川も近い速野幼稚園。そして市民の手で旧野洲川を森にしている地球市民の森があります。今回はその地球市民の森でプログラムを実施しました。

（対象：5歳児 計46名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

身体を動かして、アイスブレイク！

初めてあった保育者同士の心と体ほぐし。こっこの木は「好き」、あっちの木は「嫌い」でいろんな質問をしていきます。

- ・トカゲは？
- ・へびは？
- ・ナメクジは？ など自然のものから
- ・フナズシは？
- ・カレーライスは？ などなど

2本の木の間を行ったり来たりしているうちに、笑顔が増え、また体も動かして、温まっています。



野菜は？
・・・意外や意外、
嫌いな人もいますよ！



ゴキブリは？
・・・えっ—
大丈夫な人も
いるの！

森のうんどうかい

運動場ではなく、地球市民の森の運動会。先生と一緒にまずは散歩しながら、いろんな自然物を拾ってみます。そして、本番。グループごとに分かれてリレーをします。借り物競争のように、途中で3つの自然のもの（葉っぱ、石、枝、木の实などから自分で好きに拾う）を拾って、木にタッチして帰って来ます。足が速いか遅いではなく、自分で好きな自然を見つけて拾ってくる楽しみがあるリレーです。



赤色と黄色
の葉っぱを
拾ったよ。
きれいだね。

ウォーミングアップの遊び。木にタッチしてみよう。ヨーイドン！

葉っぱと自然のもの2つを拾って、木にタッチして、次の人に交代。「何拾おうかなあ〜」「どんなのあるかな」

拾った葉っぱや木の实、石、枝などは、布の上に置くよ。どんなのを拾って来たのかな。みんなが拾ったのが、良く分かるよ。



もりっちタイム

子どもたちの前に、大きな笑い声と共に「もりっち」が登場！寒い時は、大きな声で笑えばいいよと教えてもらいました。そして、もりっちと一緒にいろんな自然になり切りながら、森を走り回りました。葉っぱが風に揺れるように、ゆらゆらと舞ったり、木の実のようにコロコロ回ったり、ウサギさんのジャンプ、鳥のように風を切って走ったりしました。

そして、鳥（鬼役）とウサギ（逃げ役）に分かれて鬼ごっこをしました。

みんなが拾って来た葉っぱを着けて、リーダーがお面をつけて「もりっち」に変身！



葉っぱのように、ヒラヒラと飛ぶように走るよ。ヒラヒラーヒラヒラー



ウサギさんになって、ジャンプ！お家の方にも見せてもらっています。



鬼ごっこスタート。逃げろ！待てー、タッチ！

今回の実践当日は、研修時とは全く異なる冷たい雨の日となりました。そこで、体を動かせるようにプログラムをアレンジしました。さらに寒い冬が来る前に、寒さをどのように過ごすのかを、子ども達が遊びながら体験して学ぶことの大事さも深めました。

木の下にしていると、雨が降ってこないね。葉っぱが雨を受け止めてくれているんだね。



プログラムを終えてのふりかえりから

- ・森を抜けて進む際に、子どもがワクワクする様子を見た。また雨の中に出かけたことで、とても良い経験ができた。自然や雨天時に出かける経験を意図的にしていかなければいけないと思った。
- ・大人向けの研修で自身の自然との関わりを学んだが、それを子ども達にどのように提供していくか悩んでいた。今回、プログラムを立案して実践し、ふりかえりを通して、多くを学び実践できた。
- ・普段の保育では、計画を立てて実践しているが、自然の中でも同様に考えて保育することの大切さを考えた。